

学校運営協議会( 部会)議事録

校名	府立 長吉高等 学校
(准)校長名	黒田 浩継

開催日時	令和 3年 2月 6日(土)
開催場所	書面開催
委員	濱名 猛志会長 ・ 真野 正道副会長 ・ 柴田 好子委員 福井 司委員 ・ 久保田 幸子委員
協議資料	改編6年目を迎えて
備考	エンパワメントスクール (ES)

議題等(次第順)	
書面開催 ①令和2年度 学校教育自己診断について ②令和2年度学校評価について ③令和3年度学校経営計画(案)について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
①～③について 承ったご意見 報告資料をもとに学校経営について、6年目をむかえるESとしての長吉高校に向けてのアドバイスをいただく。	
▽概要 各委員から意見をいただき、令和2年度学校評価(案)及び令和3年度学校経営計画(案)について了承をいただく。	
①「令和2年度学校教育自己診断」について コロナ禍で制約がある中、生徒の満足度が向上していることについては日々の教育活動の成果として高く評価できる。2年生 の肯定的評価が低い。校則・指導について関連があるのか、今後の取り組みに向けて検討が必要。3年は肯定的評価が上がっている。教職員が生徒・保護者と信頼関係を築けたことが大きい。次年度の3年生での取り組みに期待する。	
②「令和2年度学校評価(案)」について 中期的目標、および重点目標に対する計画・内容についてはコロナ禍で制約が多い中、工夫、努力され成果があがっている。次年度コロナ禍が続く中、出口をどれだけ保証できるか手法、検討が必要。ICTを活用した校務の効率化が成果を表すにはもう少し時間が必要。教師は本来ゼネラリストであるべき。「教えるだけの人＝教師」になってはいけない。	
③「令和3年度学校経営計画(案)」について 経営計画に「考える力」が明記されたことに意義がある。この「考える力」はどんな力を目指すのか？学校全体でコンセンサスを図ることが必要。授業だけでなく様々な場面で発揮できるようにお願いしたい。これまでの面倒見の良い学校を踏まえながら「生徒自らが主体的に活動する学校」「学校へ行くのが楽しい！」へステップアップをはかってほしい。 取り組みが一方通行にならないように、学校からの発信を生徒、保護者、地域の人々がキャッチできる仕組み、またフィードバックできる仕組みを作り、生徒とともに学校もキャリアアップする時期。 最近「ヤングケアラー」問題が顕在化、教職員が生徒の状況把握に勤め、関係機関と連携して対応することが重要。 急激に変化していく社会を生き抜いていくために、自分で考え主体的に活動できる生徒を育ててほしい。そして高卒資格だけではなく社会で必要とされる力を3年間で身につける、集団で学ことで身につく力を大切に、取り組みを発展させてほしい。 以上のようなご意見をいただき、「令和3年度学校経営計画(案)」については了承いただいた。	

次回の会議日程	
日時	令和3年度 6月 12日(土) 午前10時より
会場	府立長吉高等学校 会議室